

データ共有サービス ARCHITREND Drive



ATDrive

3Dカタログ.com

【協力会社共有 準備編】

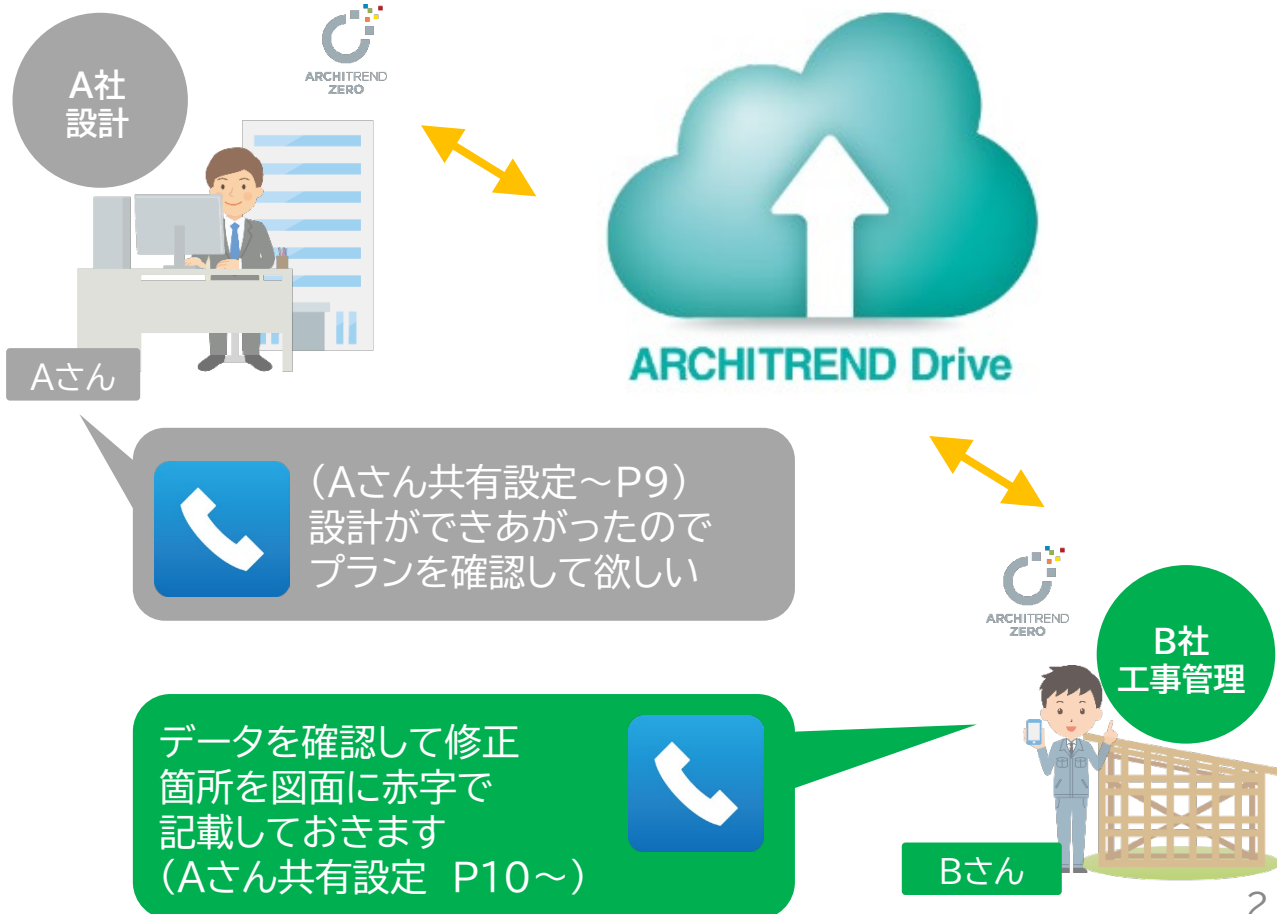
■ 社外とのデータ共有イメージ	-----	2
■ 事前準備【初期設定】		
3Dカタログマスタアプリでの設定確認	-----	3
ARCHITREND ZEROでの設定確認	-----	4
■ 事前準備		
Aさんの設定手順	-----	5～8
Bさんの設定手順	-----	9～11

本解説書では、3Dカタログ.com Bプランの契約がある協力会社間において ARCHITREND ZEROデータを共有する方法を解説します。
協力会社の2社が共に3Dカタログ.com Bプランの契約がある場合に、ARCHITREND Drive(以下ATDrive)に保管済のデータを直接参照・編集することができます。



A社 Aさんの画面
Bさんと同じ
データ保管場所

B社 Bさんの画面
Aさんと同じ
データ保管場所



事前準備

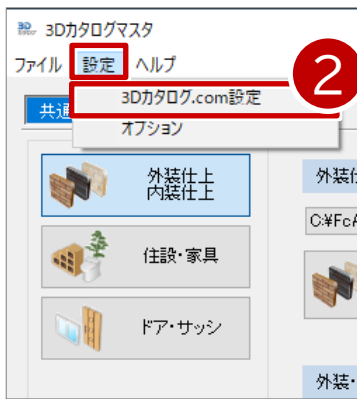
ATDriveを利用し、社内でARCHITREND ZEROデータをクラウド共有する場合には、3Dカタログ.com Bプランのご契約が必要です。本解説書では、3Dカタログ.com Bプランが2契約ある想定で解説しております。

3Dカタログマスタアプリでの設定確認



1. 3Dカタログマスタアプリを起動し、「設定」-「3Dカタログ.com設定」を開きます。

2. 「3Dカタログ.comを使用する」チェックがONになっていることを確認し、3Dカタログ.com Bプランのメールアドレスとパスワードを設定します。



Aさん
Bさん
共に設定が必要です

A社設計
Aさん

Aさん

3Dカタログ.com
B会員

B社
工事管理
Bさん

Bさん

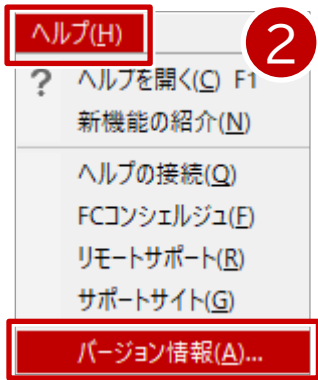
3Dカタログ.com
B会員

ARCHITREND ZEROでの設定確認



1. ARCHITREND ZERO を開いて、平面図などの画面から「ヘルプ」-「バージョン情報」の画面を表示します。

2. 3Dカタログ.com B会員で動作しているか確認します。ARCHITREND ZERO で「ヘルプ」-「バージョン情報」にて、「3Dカタログ オンライン」【B】と記載されていることを確認します。



3. ARCHITREND ZERO 起動時の物件選択画面にある、「ATDrive」をクリックすることで、クラウドデータの物件選択画面に切り替えます。



Aさん
Bさん
共に設定が必要です

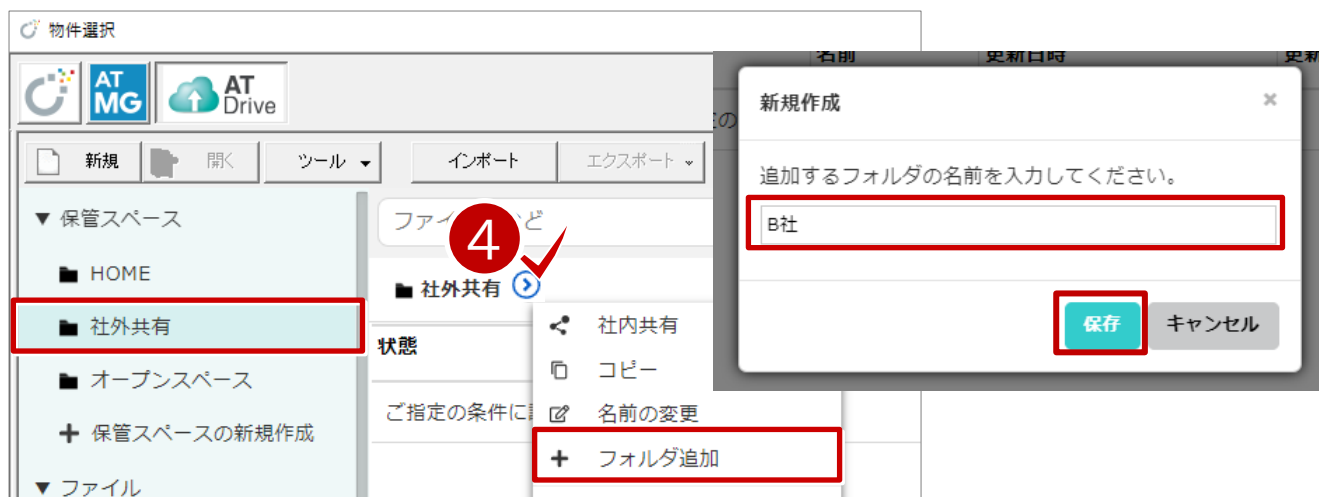
【Aさんの設定手順】 A社からB社へデータを共有する方法

1. ARCHITREND ZERO「物件選択」画面で、「ATDrive」に切り替えます。
2. 「保管スペースの新規作成」をクリックします。
3. 今回は共有する保管スペース名を「社外共有」と入力し「保存」します。



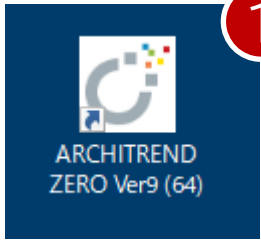
4. 画面左側の黒い「社外共有」フォルダをクリックし、「🔗」ボタンから「フォルダ追加」をクリックします。今回は、共有先の会社「B社」と記入し「保存」します。

※実務では協力会社名を記載していただくことで、分かり易い運用が可能です。

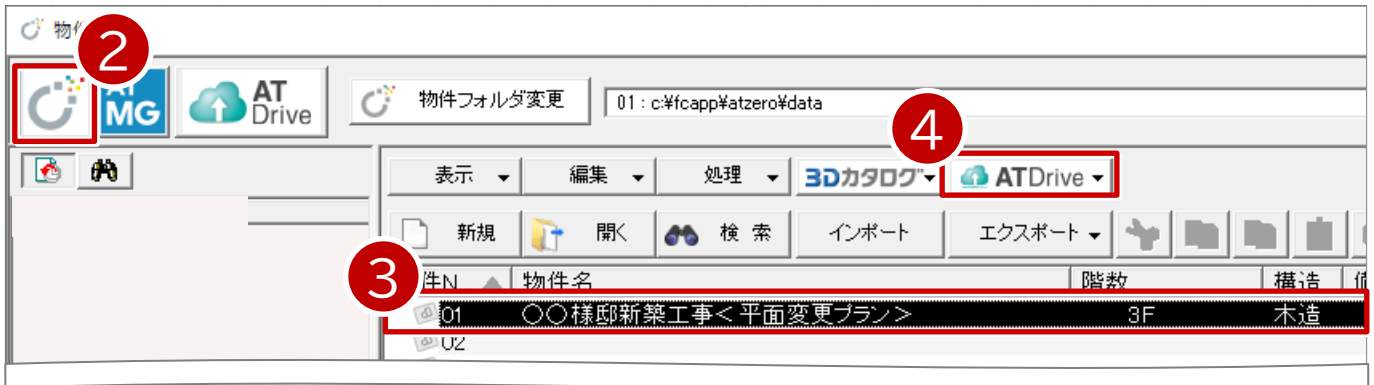


ATDrive上に「社外共有」フォルダと、その下層に「B社」フォルダが作成されています。今回は、「B社」フォルダに対し共有設定を行い、その中に今後格納していくデータを共有する手順を解説します。

【Aさんの設定手順】 データをATDriveにアップロードする方法



1. ARCHITREND ZERO を起動します。
2. 物件選択画面を「ZERO」管理に切り替えます。
3. ATDriveに移行したい物件データを選択します。
4. 「ATDrive」コマンドをクリックします。
5. 「物件をアップロード」をクリックします。

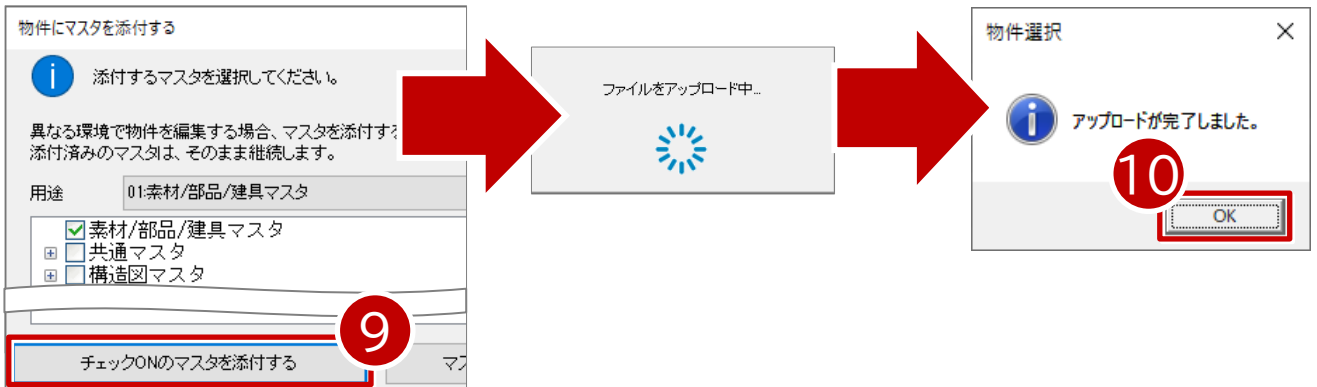


6. 「社外共有」フォルダをクリックします。
7. 「B社」フォルダをクリックします。
8. B社フォルダが表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。



【Aさんの設定手順】 データをATDriveにアップロードする方法

9. 「素材/部品/建具マスタ」をONにし「チェックONのマスタを添付する」をクリックします。
10. アップロードが完了したら「OK」をクリックします。

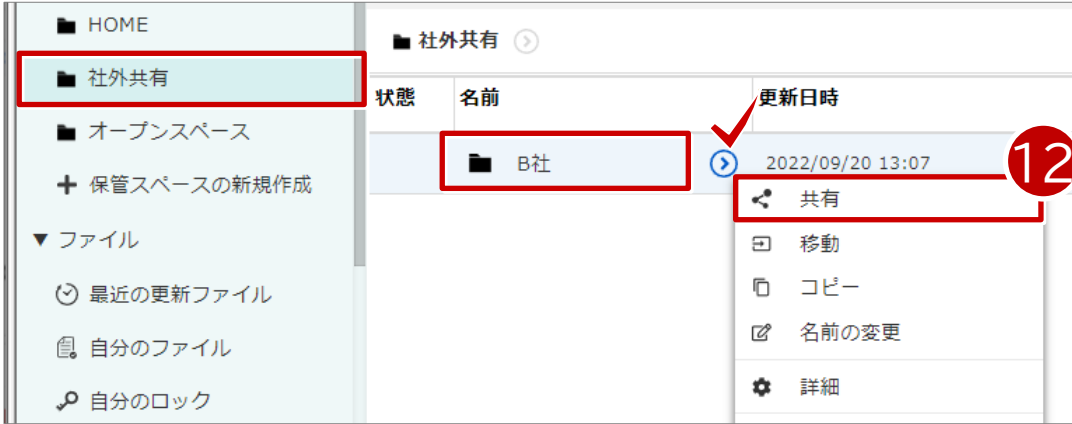


11. ARCHITREND ZEROの物件選択画面で「ATDrive」をクリックして社外共有¥B社フォルダにデータがアップロードされていることを確認できます。



【Aさんの設定手順】A社からB社へデータを共有する方法

12. 「B社」フォルダを開いて「🕒」ボタンから「共有」をクリックします。



13. 「共有ユーザー追加」をクリックしBさん(3DカタログB会員)のメールアドレスを記入します。続いて、「閲覧」から「編集」に切り替え、「共有」をクリックします。
 ※共有の際に、下記赤点線枠内の「共有名」「メッセージ」はBさんにメールで届くものとなりますので、必要に応じて記入してください。

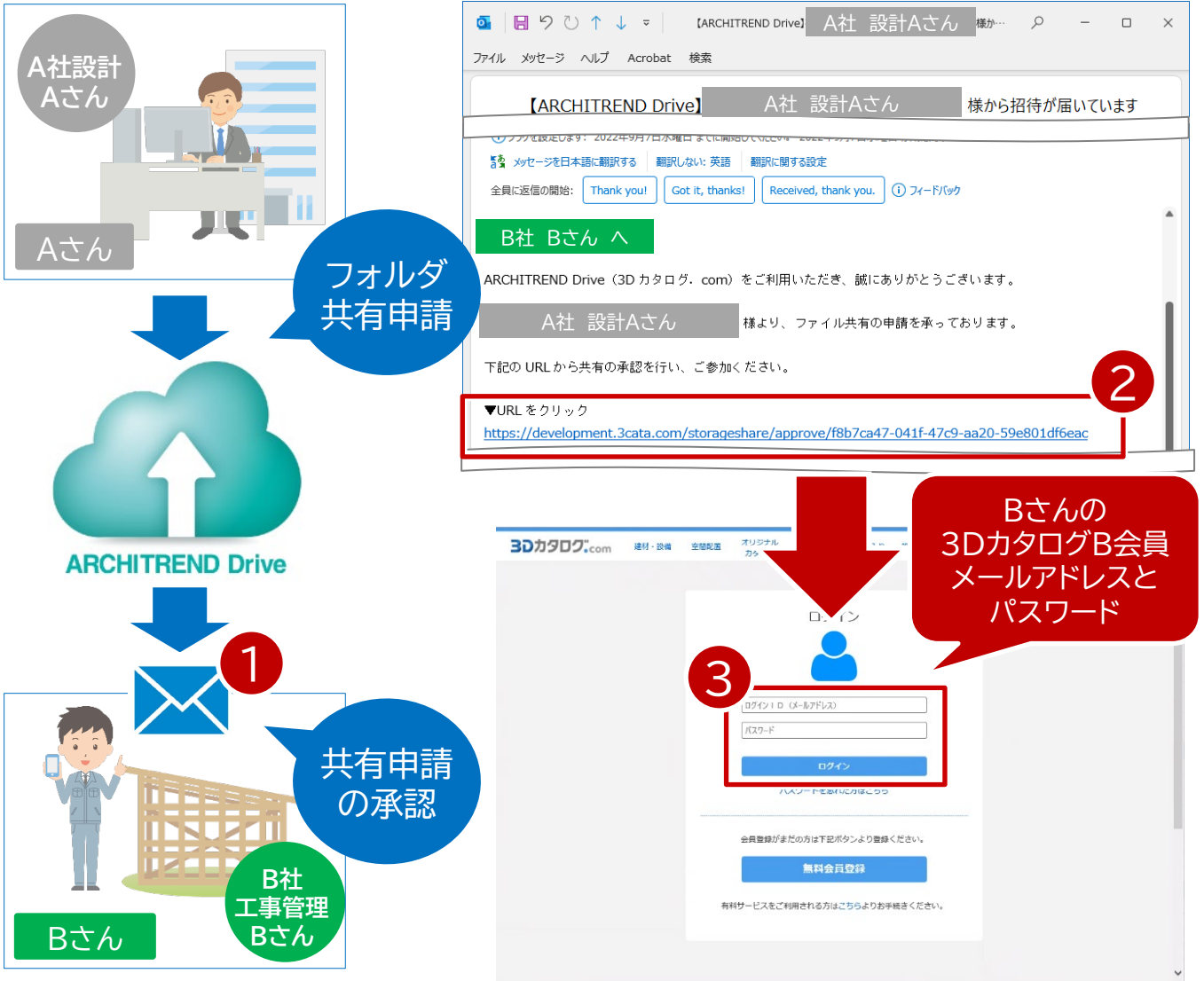


B社フォルダは
Bさんへ
共有設定がなされています

このページまでが
共有フォルダの
設定となります。

【Bさんの設定手順】 A社から共有されたデータを参照する方法

1. A社設計AさんからATDriveでの共有申請がありましたので、B社工事管理Bさんに3Dカタログ.comからメールが届いています。
2. メールを開き、URLを開いて「承認」をします。



3. Bさんは、3DカタログB会員の登録のあるメールアドレスとパスワードを入力し「ログイン」します。

【Bさんの設定手順】A社から共有されたデータを参照する方法

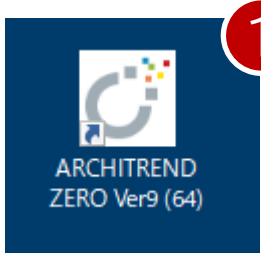
- ログイン後にATDriveのWEBサイトの画面が表示されます。
- 「他から共有」をクリックすると、「B社」フォルダが見えるようになっています。



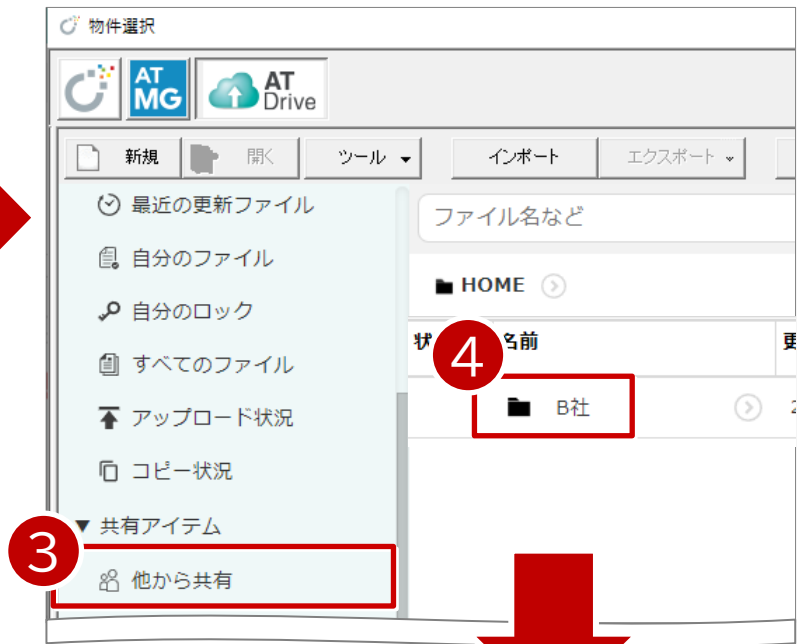
- 「B社」をクリックすると、中にAさんから共有されたZERO物件データを確認することができます。



【Bさんの設定手順】共有データをZEROで開く方法



1. ARCHITREND ZEROを起動します。
2. 物件選択画面を「ATDrive」管理に切り替えます。
3. 「他から共有」をクリックします。
4. 「B社」フォルダをクリックします。



A社Aさんが共有したデータを
B社Bさんが開くことができました

5. 「他から共有」-「B社フォルダ」に、Aさんが共有したZERO物件データがありますので、ダブルクリックしてZEROデータを開くことができます。